

[illegible]

予防接種の種類			対象年齢	標準的な接種年齢等	対象年齢 標準的な接種年齢※1										接種回数	備 考	
					2か月	4か月	6か月	8か月	10か月	1歳	3歳	5歳	7歳				
定期 ロタウイルス	1価	経口生ワクチン	生後6週～24週	[接種開始] 生後8週～15週未満	↓	↓									2回	1回目接種後、27日以上の間隔をおいて、24週までに2回経口接種 ※初回接種は、生後14週6日までに行うことを推奨	
	5価		生後6週～32週	[接種開始] 生後8週～15週未満	↓	↓	↓								3回	1回目接種後、27日以上の間隔をおいて、32週までに3回経口接種 ※初回接種は、生後14週6日までに行うことを推奨	
定期 B型肝炎		不活化ワクチン	1歳未満	生後2か月～9か月未満	↓	↓	↓	↓							3回	1回目接種後27日以上の間隔をおいて2回目を接種、3回目は初回から139日以上経過した後に1回接種	
定期 小児用肺炎球菌 (15価、20価)		不活化ワクチン	生後2か月～生後60か月 (5歳) 未満	[接種開始] 生後2か月～7か月未満	↓	↓	↓								初回	3回	1回目接種後27日以上の間隔をおいて2回目を接種 (3回目も同様) ※初回3回は、生後12か月に至るまでの間に接種
															追加	1回	3回目終了後60日以上の間隔をおいて生後12か月から生後15か月に1回接種
定期 5種混合 ジフテリア 百日せき 破傷風 ポリオ ヒブ	1期	不活化ワクチン	生後2か月～生後90か月 (7歳6か月) 未満	生後2か月～12か月未満	↓	↓	↓								初回	3回	1回目接種後20日～56日の間隔をおいて2回目を接種 (3回目も同様)
				[3回目接種後] 生後12か月～18か月未満											追加	1回	3回目終了後6か月以上の間隔をおいて標準的には生後12～18か月未満の間に1回接種
定期 BCG		生ワクチン	1歳未満	生後5か月～8か月未満			↓								1回		
定期 麻しん風しん混合 (MR)	1期	生ワクチン	生後12か月～生後24か月 (1歳～2歳) 未満	1歳になったらできるだけ早期に接種								↓			1回		
	2期		小学校就学前の1年間	5歳～7歳未満 小学校就学前の1年間									↓	1回	令和7年度の対象者は、 平成31年4月2日～令和2年4月1日生まれの方		
定期 水痘 (水ぼうそう)		生ワクチン	生後12か月～生後36か月 (1歳～3歳) 未満	[1回目] 生後12～15か月								↓	↓		2回	1回目終了後3か月以上、標準的には6～12か月の間隔をおいて1回接種	
				[2回目] 1回目接種後 6～12か月あける													
定期 日本脳炎 ※2	1期	不活化ワクチン	生後6か月～生後90か月 (7歳6か月) 未満	3歳								↓	↓		初回	2回	1回目接種後6日～28日の間隔をおいて2回目を接種
				4歳											追加	1回	2回目接種後6か月以上、おおむね1年の間隔をおいて接種

※1「標準的な接種年齢」とは、病気にかかりやすい時期を考慮して、できるだけこの時期に受けることが望ましい年齢です。

※2 日本脳炎は平成17年から予防接種差控え期間があったため、平成17年4月2日～平成19年4月1日生で接種機会を逃した方は、20歳になる前日までに、未接種分について最大4回まで接種することができます。

⚠ 定期予防接種の費用は自己負担無しで受けられます。ただし、対象年齢を過ぎると任意接種となり、自己負担が発生します。